



AHI 巡回交流会

ダリットとして生きる

— インド社会で虐げられてきた人々の声に聴く —

ダリットという人々のことを知っていますか。最近ではインドの大統領がダリットの出身であることが話題となっています。ダリットとはカースト制度の外に置かれた人々のことで被差別民衆ともよばれます。

講師のカリさんは、自らもダリットとして、幼少期に様々な体験をしました。大学卒業後、長年 NGO ワーカーとして活動してきました。

自らの体験からインド社会におけるダリットの置かれてきた状況、ダリットの人たちと展開してきた人権回復運動の中で、どのように当事者が声をあげるように変わってきたかのプロセスを写真や映像を交えて語ります。歌や絵を用いた活動の実演もあります。

11月21日午前11時10分～12時40分 愛知淑徳大学長久手キャンパス 8号棟 813

11月21日午後6時～8時 アジア保健研修所 300円 (食事含む)

11月22日午前11時～午後2時 南生協病院1階 ふれあいルーム 800円 (食事含む)

11月24日午後6時半～8時45分 名古屋YWCA 404号室 AHI 会員 300円 一般 500円

11月30日午前10時～12時 グローバル・スタディーズ・カフェ 岡崎市康生通東1-23 500円

講師のプロフィール：Murugan Kalirathnam さん (通称 カリさん) 男性、59 歳、インド・タミルナドゥ州在住) 1994 年の AHI 研修生、本人もダリットの出身。1992 年から 12 年間、南インドでダリット解放運動、生活改善を進めた NGO で活動、2006 年に TTA (ティルパニ協会 = 貧困者のための奉仕協会) を創設して現在にいたります。



その働きとしてはダリットが権利意識に目覚め主体的に行動するように支援をしています。女性、子供、ダリットと先住民たちが行政サービスを利用できるようになることを目指しています。また、経済的理由で学校に行けなくなった生徒たちの義務教育への復帰、障害者の権利獲得、地域保健、土地なし農民の権利回復運動などを進めてきました。特に農村にお

ける障がい者支援は政府とも連携をして TTA の主たる活動になっています。

主催 公益財団法人アジア保健研修所

アジア保健研修所 AHI とは

アジア各地の農村やスラムで人々の健康を守るため現地の保健ワーカーを育成している国際協力 NGO です。1980 年に始まり約 6000 人の卒業生がアジア各地で活動しています。

お問い合わせ・お申込はメール・電話でお願いします。またホームページからも申し込みます。

(公財)アジア保健研修所 (AHI) 担当：中島
〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山 987-30

Tel 0561-73-1950 Fax 0561-73-1990

Email: info@ahi-japan.jp HP: <http://www.ahi-japan.jp>